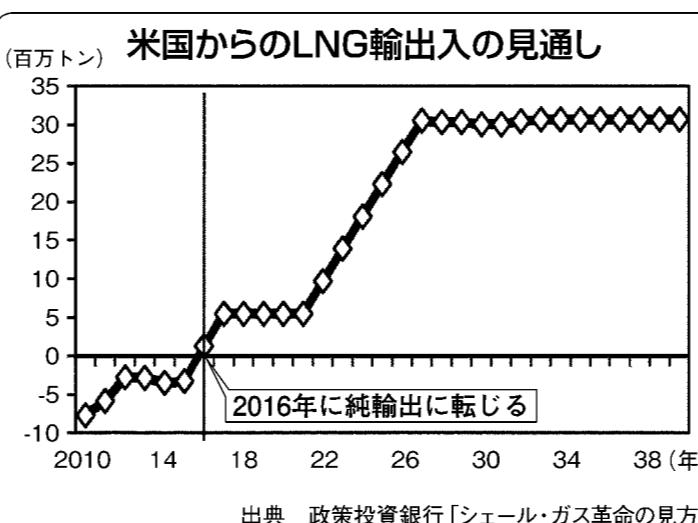


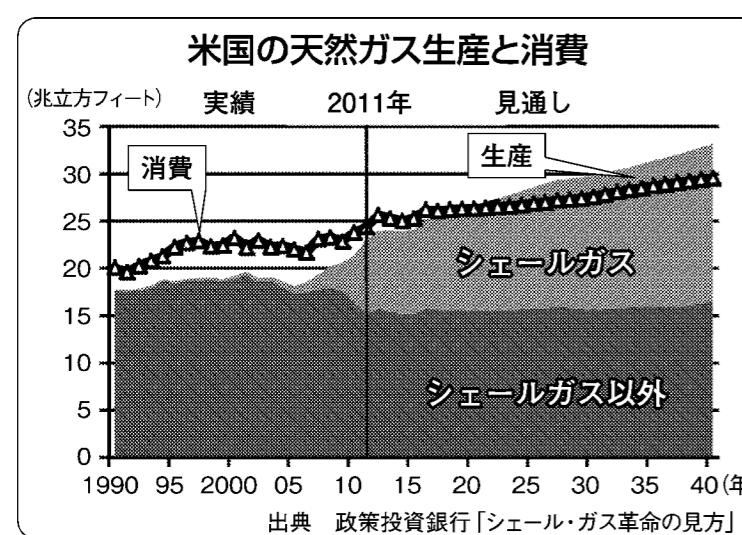
■ エネルギー政策 ■

17年以降は米国からの輸送役も担う LNG運搬船(千葉県袖ヶ浦市)

非在来型資源へアクセス



問題は果たして、もう
ろみ通り安く調達でき
かどうか。ヘンリー・ハブ
価格の動向について、国
際エネルギー機関の専門
家は「3ドルでは企業が持
続可能なガス生産ができ
ない。5ドルにはなるだ
う」と予測。また、米国
の著名なコンサルタントは
は「今までが安すぎた」
で今年は強含み、5ドル
では行く。だが、14年には
は再び4ドル台前半に戻る
だろう」と見る。もつと
も、日本に輸出を始め
17年以降はまだ具体的に
見通せないのが実情だ。



格は地政学リスクなどに
よつて高止まりが続いて
おり、日本にとつてはし
NG価格が実勢を反映せ
ず、高値で安定している
と映つている。

ここにヘンリーハブが
入つてくれば、裁定が効
いて、既存の原油リンク
価格を下げるのでは
ないかという思惑があ
る。調達先の多様化で交
渉力を高めることも可能
だ。日本の企業にはヘン
リーハブをカードとして
使い、17年より前の調達
価格契約でも交渉を優位
に進める胆力が求められ

“ジエール革命”追い風 調達先の多様化力ギ

Year	2022	2026	2030	2034	2038
純輸出 (Surplus)	0	~10	~15	~20	~25
純輸入 (Deficit)	~10	~5	~3	~2	~1

電力やガス、燃料油などモノづくりに不可欠なエネルギー。だが、原子力発電所の大半が止まり、これを代替する液化天然ガス（LNG）など火力燃料の追加負担増で電気料金の上昇が避けられない。さらにLNG価格も高止まり。ガス価格にも影響を及ぼしている。エネルギーコストの上昇で製造業の空洞化懸念は高まる一方だ。

こうした逆境への救世主として期待されるのが、シェールガスやシェールオイルなど非在来型資源と呼ばれる化石燃料だ。特に米国ではここ数年、『シェール革命』と呼ばれるほどのインパクトを社会に与えている。2020年までには米国がガスの純輸出国に転換す

り、これが代替する液化天然ガス（LNG）など火力燃料の追加負担増で電気料金の上昇が避けられない。さらにLNG価格も高止まり。ガス価格にも影響を及ぼしている。エネルギーコストの上昇で製造業の空洞化懸念は高まる一方だ。

こうした逆境への救世主として期待されるのが、シェールガスやシェールオイルなど非在来型資源と呼ばれる化石燃料だ。特に米国ではここ数年、『シェール革命』と呼ばれるほどのインパクトを社会に与えている。2020年までには米国がガスの純輸出国に転換す

ると見られ、メキシコ湾岸などでは当初、輸入基地に改造する工事をも進めている。

しかも、シェールガスの増産で天然ガスの需給緩和が緩み、代表的な価格指標「ヘンリーハブ」は現在、1,100万BTU（英熱量単位）当たり3.5ドル前後という歴史的な安値に張り付いている。これは日本のLNG輸入価格の5分の1程度の水準。

米国の安いガスを液化して日本に輸入できれば、電気料金やガス料金の低廉化につなげられる可能性がある。

これを見越し、すでに三菱商事と三井物産、そして住友商事と東京ガスがそれぞれ、米国のLNG輸出プロジェクトに参画。次いで中部電力と大

阪ガスが自らガスを液化

米国政府は資源の輸出相手を自由貿易協定の締結国に限つており、日本など非締結国には審査が必要。2月下旬の日米首脳会談で安倍晋三首相は米国のオバマ大統領にNG輸出の承認を要請。オバマ大統領が前向きに発言をしたこともあって、「審査の順番から、まず中部電力と大ガスが参画するプロジェクトに認可が下りるのではないか」（関係者）との期待が高まっている。そつたれば17年にも輸出が始まる見通しだ。

こうした状況を受け、ほかのエネルギー会社も非在来型資源へのアクセスを加速している。米国では同様、膨大な埋蔵量を誇るカナダには出光興産と石油資源開発が進出。出光は1月末にアルバータ州のエネルギー会社、アルタガスと提携。アルタガスが持つ既存のパイプラ

ラインを拡張し、西海岸に共同で出荷基地を建設する。「米国が本当に LNG 輸出をフリーにするのか、リスクもあつたので、カナダのアルタガスを選んだ」(出光首脳)とおり、まずは事業化調査(FS)から共同で事業を開始。順調なら 16 年に液化石油ガス(LPG)の、17 年には LNG

An aerial photograph of the Shell Gas Tanakata LNG terminal. The facility features several large, white, spherical storage tanks arranged in a complex network of pipes and structures. Two prominent tanks are clearly visible, one labeled '7' and another labeled '8'. The tanks are situated in a hilly, industrial landscape with roads and other industrial equipment in the background.

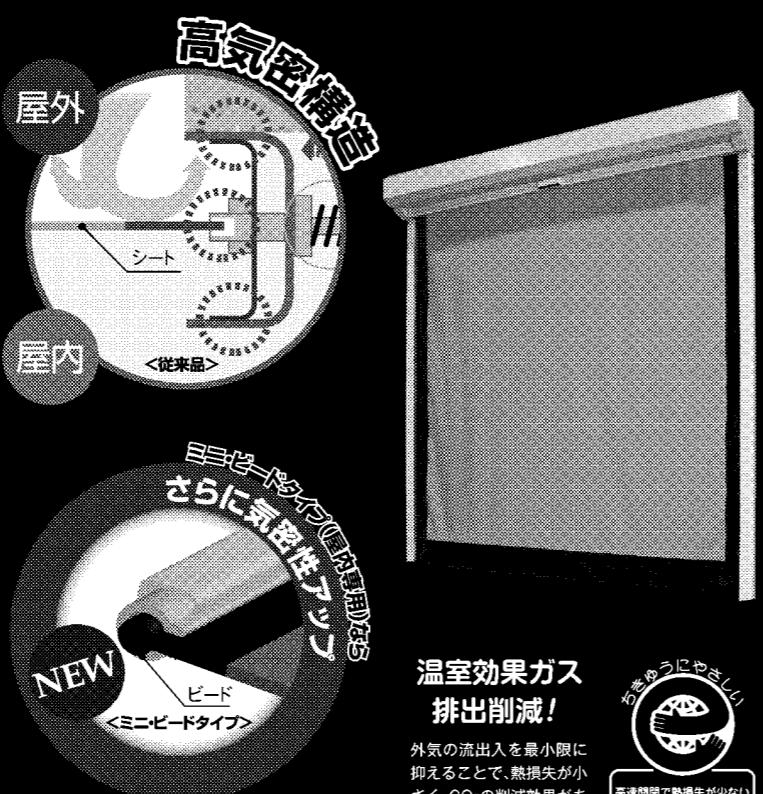
BX
化シヤツタ-

Life in Lifelong Partnership

文化シャッターはお客様に安心・安全を提供する「快適環境のソリューショングループ」として
防災・省エネ対策をサポートします。

高速・高気密構造でベストな 製造・物流環境を実現

防虫・防塵・省エネ、空調管理、衛生管理など、生産工場や物流センターなどでベストな環境を実現するうえで欠かせない設備としてご採用いただいている。従来よりさらに気密性能を高めた構造を持つ屋内専用の「ミニ・ビードタイプ」、圧倒的にコンパクトな屋内専用の「ピコモ」など、現場の様々なニーズに適応する製品をラインアップ。お客様の作業環境の最適化に貢献します。

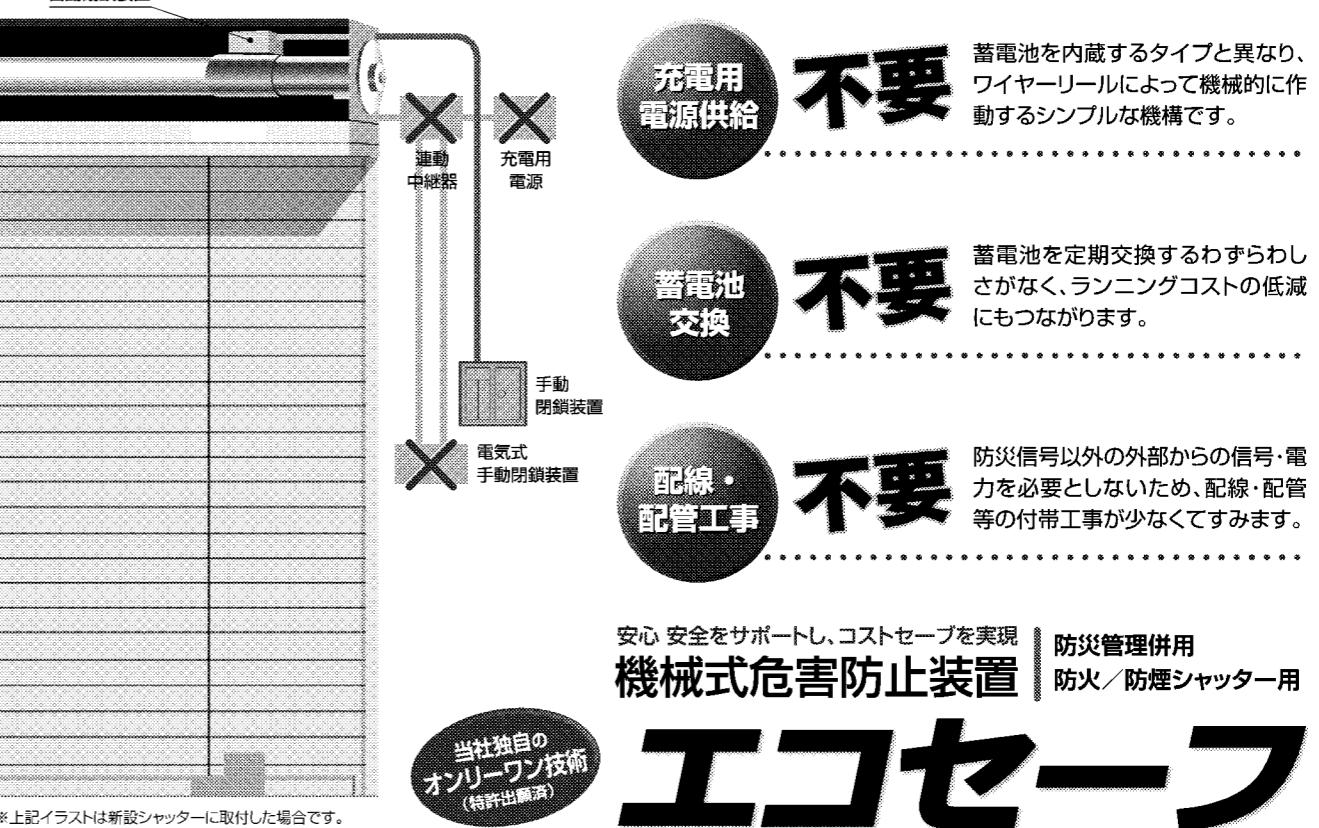


高速シートシャッター エア・キーパー **大間近** ダイマジン

機械式危害防止装置のため リースで省エネにも貢献

危害防止装置は従来、蓄電池内蔵式が主流でしたが、市場の省エネニーズにお応えし、バッテリーレスタイプを独自に開発しました。機械的にワイヤーを制御するシンプル設計なので、いざという時も安全・確実に作動。管理

用シャッターとしてご使用時には、障害物感知装置としての機能を果たします。既設シャッターへの後付が可能となったことにより、さらにみなさまのニーズにお応えできるようになりました。



安心 安全をサポートし、コストセーブを実現
機械式危害防止装置 | 防災管理併用
防火／防煙シャッター用

エコセーフ